

篠崎功子 | 青嶋直樹 | 鷺宮美幸

いさなみ
ピアノトリオ

今宵心に響く
悠久の調べ

Piano

鷺宮

MIYUKI
WASHIMIYA

美幸

シューベルト

ピアノ三重奏曲第1番変ロ長調
作品99 D898

チャイコフスキー

ピアノ三重奏曲イ短調
作品50「偉大な芸術家の思い出に」

2025 6/4 (水)

18:30 開場 | 19:00 開演

会場/ 代々木上原 MUSICASA (ムジカーザ)

東京都渋谷区西原3-33-1

【全席自由】5,000 円

Violin

篠崎

功子

ISAKO
SHINOZAKI

Cello

青嶋

NAOKI
AOSHIMA

直樹



◆チケット取扱い

スガナミ楽器㈱ 多摩店 ☎042-375-5311

← WEBお申し込みはこちらのQRコードから

◆ **teket** <https://teket.jp/13080/45825>

主催/ 青嶋ホール

後援/ スガナミ楽器㈱ 多摩店 | ㈱佳和 |

一般社団法人 日本弦楽指導者協会

お問い合わせ/スガナミ楽器㈱多摩店 ☎042-375-5311

Violin

篠崎 功子

Isako Shinozaki



「ヴァイオリン早教育」で著名な父、篠崎弘嗣に幼少の頃からヴァイオリンを学び、4歳で初舞台。14歳で第一回ソロ・リサイタルを日比谷公会堂で開き、注目を集める。この頃から、ラロ、メンデルスゾーン、ベートーヴェン、ブラームス、チャイコフスキー等の協奏曲を多くのオーケストラと共演。東京藝術大学付属音楽高等学校にて、兎東龍夫氏に師事。桐朋学園大学音楽学部にて、ジャンヌ・イスナール、斎藤秀雄の両氏に師事。1964年、NHK・毎日新聞社主催、第33回日本音楽コンクール第一位、大賞並びにレウカディア賞を受賞。同年、海外派遣コンクールで安宅賞受賞。1966年、イタリアジェノヴァで開かれるバガニーニ国際コンクールで第三位。1968年、フランスに留学、旧師ジャンヌ・イスナール氏に学ぶ。1974年、ロドリゴのヴァイオリン協奏曲を日本初演、ロドリゴの招きで、スペインのサンティアゴ・デ・コンポステーラフェスティバルに参加。1977年から、演奏家7名、作曲家7名の協業による「アンサンブル・ヴァン・ドリアン」の一員として、多くの現代作品の紹介に努める。1983年、第一回中島健蔵賞を受賞。以降、ソリストとして、多くのオーケストラと共演する他、室内楽、現代曲の演奏にも積極的に取り組み、池辺晋一郎プロデュースの「Sound Splash」に出演するなど、法人作品の初演も数多く、中国、東南アジア、アメリカ、南米、スペイン、ドイツ、オーストリア等でも演奏を行っている。石井眞木、山田泉、池辺晋一郎、一柳慧などの作品演奏のCDをリリース。また、「新しいヴァイオリン教本」「若い人のヴァイオリン教本」「学生協奏曲」など、教則本のCDも高い評価を得ている。

桐朋学園大学音楽学部特命教授 / 日本弦楽指導者協会理事 / 元東京音楽大学客員教授

Cello

青嶋 直樹

Naoki Aoshima



桐朋学園大学チェロ専攻卒業。井上頼豊、徳永兼一郎、堤剛の各氏に師事し、アルト・ノラス氏、エルッキ・ラウティオ氏に特別レッスンを受ける。漆原朝子、石川静、岡山潔、若林顕、莊村清志、フェデリコ・アゴ스티ーニの各氏など著名な演奏家との共演や、ラジオ、テレビ、CM出演など幅広い活動を展開。1989年にはハイドンのチェロ協奏曲第4番を邦人初演。1990年の難聴児のためのコンサートはNHKで全国放映され、大きな反響を呼ぶ。1995年には静岡音楽館AOI開館記念コンサート、1996年には田沢湖音楽祭で2夜にわたるリサイタルを開催。箏曲家・久本成子、美術家・柳沢紀子、詩人・吉増剛造の各氏とのコラボレーションも高く評価されている他、ロックや現代音楽を含む多様な音楽表現に携わるなど、ジャンルを超えた活動にも積極的に取り組んでいる。2004年には篠崎史紀氏、清水和音氏とのトリオが好評を博す。2005年から2017年までシアターオーケストラトリーキョーのソロ首席奏者を務め、現在も全国各地のオーケストラで客演首席奏者として活躍しながら、ソリストとして多くのリサイタルに出演、協奏曲も多数演奏している。日本弦楽指導者協会の講師として、後進の育成や音楽人口の拡大にも力を注いでいる。平成24年度、静岡県芸術文化奨励賞受賞。

一般社団法人日本弦楽指導者協会副理事長・静岡県支部支部長 / 静岡県学生音楽コンクール弦楽部門審査員長 / 静岡室内楽協会理事

Piano

鷺宮 美幸

Miyuki Washimiya



7歳よりピアノ、作曲、バイオリンを始める。その後、桐朋学園大学ピアノ科在学中、フランス音楽会の第一人者、H.ピュイグ＝ロジェ氏の推薦で、パリに留学。帰国後、同大学を卒業。第56回日本音楽コンクール入選を皮切りに、UFAM国際コンクール室内楽部門第2位、日本室内楽コンクール第3位、国際ピアノデュオ・コンクール2台4手部門第2位(日本人最高位)など、多くのコンクールに入賞。Kris Foundationに度々招聘され、シンガポールでソロリサイタル、メトロポリタン・フェスティバル・オーケストラ、指揮Chan Tze Lawと協奏曲を共演。また、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団のクリストフ・ハルトマン、イ・ムジチ合奏団のマッシモ・パリス、マクサンス・ラリュエ、ミッシェル・マイスキーなど、国内外の著名なソリストらとも共演している。NHK・BS「びあのピアノ」、NHK・FM「名曲リサイタル」にソロで、また室内楽、伴奏でも度々出演。『ピアノ&ピアニスト』(音楽之友社2018年1月発行)の「日本の名ピアニストたち」にも選ばれた。これまでにピアノを寺西明子、村手 静子、T.パラスキヴェスコ、高木茉莉、松浪佳子の各氏に、室内楽をJ.M.ダマーズ、三善晃、H.ピュイグ＝ロジェ、クリスチャン、イヴァルティの各氏に、チェンバロを遠藤陽子氏に師事。現在、ソリスト、室内楽奏者、オメガ・ピアノトリオのメンバーとして活躍している。これまでに、ソロ・アルバム「記憶の風景」(コジマ録音)、「ワッシー・ファンタジア」(パスティエル)、「鷺宮美幸・ピアノリサイタル」(コジマ録音)をリリース。このほかマッシモ・パリス(Vla.)との共演による「ショスタコーヴィチ」(ダ・ヴィンチ・クラシック)など、多くのCDをリリースし、いずれも高い評価を得ている。
<http://www.miyuki-washimiya.com/>

会場/ 代々木上原 MUSICASA
(ムジカーザ)

東京都渋谷区西原3-33-1

※代々木上原駅 東口より徒歩3分

